

部 局 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

部局名	水道局	部局長名	岩下 満志
-----	-----	------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	6 4 . 7 億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		4 3 人	7 人	5 0 人

①部局の使命 (組織の存在価値)	●水道局の使命は 「生活環境の整備改善を進め、市民が安全で、安定した生活を継続・維持できるよう、企業の経済性を発揮しながら、計画的かつ効率的な事業運営を行い市民福祉向上に資することである。」	②組織目標像	【施策の目標像】 ・ 持続可能な健全経営 【組織の目標像】 ・ 限られた職員による効率的な事務執行のできる組織
---------------------	--	--------	--

平成 2 2 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標 (めざそう値)	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況 (年度中間)	⑧年度末の達成状況
管理運営の合理化 【水道管理課】 【上水道課】	(1) 水道事業の業務委託等による経営の合理化	①多様な運営形態の事例研究と課題等の把握に努める	△ ①検針・徴収業務の民間委託研究・検討中 ○ 施設管理に係る運営形態の事例について調査研究を行っている	△ ①検針・徴収業務の民間委託研究・検討中 ○ ②施設管理に係る運営形態の事例について、調査研究を継続して行っている。
水道事業の統合 【水道管理課】 【上水道課】	(1) 平成 23 年 4 月から 1 上水道事業として経営を開始する。 (2) 平成 28 年度までに、全水道事業を、1 上水道、2 簡易水道事業に統合する。 (3) 事業統合により経営管理、事業運営の合理化を図る。	①事業統合に向けた審議会の開催等 ②厚生労働省への水道事業創設認可申請 ③川内・樋脇・東郷・入来の 4 上水道事業の統合のための条例改正議案の提案 ④中甕地区 (中甕, 江石, 桑之浦) の事業統合による連絡管整備により水道水の安定供給を図る。 送水施設 L=1, 520m, 電気設備	○ ①概ね計画どおり実施 ○ ②22 年 8 月～厚労省事前協議 ○ ③概ね計画どおり実施 H22. 12 月議会上程 ○ ④22 年 8 月実施設計業務委託完了	○ ①上水道運営審議会を 3 回開催した。 (4 月, 5 月, 11 月) ○ ②水道事業創設認可取得済 (H23. 3. 25 付け) ○ ③条例改正議案可決済 (H22. 12 月議会) ○ ④中甕地区統合整備事業 ・ 送水施設 L = 1, 520 m 実施済 ・ 電気設備実施済

部 局 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

		⑤ 祁答院地区統合整備事業 秋上浄水場施設整備 上手・下手地区の連絡管整備 L=1,820m	○	⑤ 22 年 8 月実施設計業務委託完了	○	⑤ 祁答院地区統合整備事業 秋上浄水場施設整備 上手・下手地区の連絡管整備 中 L=1,820m
水道料金等の統一 【水道管理課】	(1) 平成 23 年度に水道料金及び給水負担金を統一	① 水道料金等統一に向けた審議会の開催等 ② 水道料金等統一に係る条例改正議案の提案 ③ 料金統一等内容の市民への広報周知徹底	○	① 水道料金統一に向けた上下水道事業運営審議会 2 回開催 ② 9 月議会に条例改正議案を提案し可決された。 ③ 料金統一等のお知らせ記事を 10 月 25 日号の広報薩摩川内お知らせ版で周知した。10 月 20 日から市ホームページに同内容を掲載した。	○	簡易水道を含む市内全地域の水道料金、給水負担金、水道検針等供給条件を平成 23 年 4 月に統一した。
水道料金収納率向上 【水道管理課】	(1) 過年度滞納分収納率の対前年度比プラス	① 特別徴収（夜間・臨戸）及び停水措置の計画的な実施 ② 誓約書の作成等滞納管理の強化 ③ コンビニ収納の普及・啓発に努める。	○	① 本土地域においては滞納整理専従の嘱託員を 6 月から採用した。年間の滞納整理計画を策定し、毎月滞納者へ停水予告通知の送付、戸別訪問による停水実施のメモ入れ、停水を実施している。 ② 分納誓約書を交わし計画的な納付を強化した。 ③ コンビニ収納ができる通常の納付書を送付するとともに、土日、祝祭日及び金融機関で納付困難な者に対してコンビニ用納付書を発行している。	○	水道料金滞納対策として、各月ごとの滞納整理計画を立て、停水実施を伴う戸別訪問、戸別徴収強化に取り組んできた成果により、過年度滞納分収納率は前年度比率を上回った。 ・ 停水実施 H22 年 5 月～H23 年 2 月まで 9 回実施 ・ 戸別訪問件数 1,353 件 ・ 停水実施件数 274 件 ・ 収納率 47.05%

部 局 経 営 方 針

平成 22 年度

薩摩川内市

水道施設の計画的な更新 【上水道課】	(1) 老朽管の更新 (2) 石綿セメント管更新	①上水道 L=5,110m 簡易水道 L=1,290m ②下甌地区の基幹改良 配水管 L=2,670m ③入来地域 1,375m実施予定	○ △ ○ ○	①概ね計画どおり実施 計画より遅れている ②概ね計画どおり実施 ③22 年 7 月発注	○ ①老朽管の更新 ・ 上水道 L = 6,881 m 実施済 ・ 簡易水道 L = 1,190 m 実施済 ②下甌地区の基幹改良 配水管 L = 2,630 m 整備中 ③入来地域 1,498m実施済
給水サービスの向上 【上水道課】	(1) 3 階直結給水の検討	①川内地域水圧調査の実施	△	①計画より遅れている	○ ①上水道地域全ての水圧調査完了
予算の計画的執行 【上水道課】 【下水道課】	(1) 建設事業の年度内執行・年度内完成	①計画的, 効率的事業執行 ②重点的予算配分を行う。 (国庫補助金の活用) ③早期発注に努める。 ④無理・無駄を省いた効率的な事務執行により, 建設予算の繰越を最小限に抑える。	△	①～④計画より遅れている	○ [上水道課・下水道課] ①工事発注の遅れにより一部年度内完成が出来なかったため, 次年度に繰越した。
生活排水対策の推進 及び下水道事業の経営改善 【下水道課】	(1) 公共下水道 (川内処理区) の接続率向上 (150 戸の新規接続を目標とする。) H22.3 月末の接続率 54.2%	①向田・宮里地区では, 未接続家屋所有者への戸別訪問等の実施 ②平佐地区では, 説明会の開催及び未接続家屋所有者への戸別訪問の実施	○	①②平佐地区の平成 22 年 4 月 1 日供用開始区域 (327 戸) について, 6 月に課職員全員で戸別訪問を実施。また, 工事及び接続についての地元説明会は, 4 月から 6 回実施して周知を図ってきた。	○ ①平佐地区の平成 22 年供用開始区域 (327 戸) を課全職員で戸別訪問を実施し 67 件の接続を含めて川内処理区内で計 199 件の接続があった。 ○ ②工事及び接続についての地元説明会を 7 回実施して周知を図ってきた。

部 局 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

(2) 農業集落排水事業入来地域（入来中部処理区・大馬越処理区）の接続率向上（5戸の新規接続を目標とする。） H22.3月末の接続率 入来中部 53.3% 大馬越 64.3%	①入来中部処理区の未接続家屋所有者への戸別訪問の実施	○ ①未接続者への接続依頼文書等を配布した。入来中部処理区において2件、大馬越処理区において1件の新規接続申請があり、入来中部、大馬越それぞれ1件ずつ2件の接続が完了した。	○ ①未接続者への接続依頼文書等を配布した。入来中部処理区において3件、大馬越処理区において2件の計5件の新規接続申請があり申請件数5件の接続が完了した。
(3) 公共下水道、農業・漁業集落排水及び地域下水処理対象地区外での小型合併処理浄化槽の普及整備	①小型合併処理浄化槽設置整備費補助金制度の周知を図る。	○ ①広報掲載による補助金制度の周知を図った。 5人槽で245基、7人槽で74基、10人槽で5基の申請があった。	○ ①広報掲載による補助金制度の周知を図った。 5人槽で319基、7人槽で112基、10人槽で6基 計437基の申請者に補助金を交付した。
⑦年度中間総括	・水道事業経営合理化に向けた検討・研究を進め、水道事業統合・水道料金等統一に向け、上下水道事業運営審議会を計画的に開催した。審議会から答申を受け、条例改正議案を9月議会に提案し可決された。 ・水道料金収納率向上に向け、6月から滞納整理専従の嘱託員を採用し、年間滞納整理計画の策定、停水予告通知及び停水実施通知を対象者へ計画的に送付し停水を実施したほか、戸別徴収にも努めた結果、平成22年9月末の上水道事業過年度未収金収入は28,570,815円（収納率33.09%）となった。 ・施設管理の運営形態の調査・研究を進めるほか、「水道事業統合」のための厚生労働省事前協議を行った。（H22.10協議） ・上水道整備事業については、業務委託の完成の遅れにより工事発注が遅れたものもあるが、全体的には概ね計画どおり進んでいる。 ・下水道工事の円滑な施工及び工事終了後の接続推進を図った地元説明会の開催、戸別訪問の実施、接続依頼文書等の配布等により薩摩川内市下水道事業において134戸の新規接続者を確保することができた。		
⑨年度末総括	・水道事業経営合理化に向けた検討・研究を進め、平成23年4月から本土地域の4上水道事業（川内、樋脇、入来、東郷地域）を1上水道事業に統合した。市民の水道料金等負担の公平性の観点から、簡易水道を含む市内全地域の水道料金、給水負担金、水道検針などの供給条件を統一した。また、水道料金収納率向上に向け、6月から滞納整理専従の嘱託員を採用し、年間滞納整理計画の策定、停水予告通知及び停水実施通知を対象者に送付、計画的に停水を実施したほか、戸別徴収にも積極的に取り組んだ結果、平成23年3月末の上水道事業過年度未収金収入は40,625,775円（収納率47.05%）となった。（前年度同時期対比：33,981,327円、収納率46.27%） ・上水道整備事業に係る委託・工事関係業務は概ね計画どおり進めることができたが、工事発注の遅れにより一部、年度内完成ができなかった。 ・下水道工事の円滑な施工及び工事終了後の接続推進を図った地元説明会の開催、戸別訪問の実施、接続依頼文書等の配布等により薩摩川内市下水道事業260戸の新規接続者を確保することができた。		

平成 2 2 年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市